

県立有馬富士公園内への地場産レストラン設置に向けたサウンディング調査結果（概要）

1. サウンディング調査の目的

- 三田市では、大阪・神戸に近接しながらも豊かな自然環境を有する立地条件を活かした都市近郊農業を推進し、地域の活性化を図るため、三田の「食」と「農」の魅力を広く発信する地場産レストランを市内に複数展開し、戦略的な PR/プロモーションを行うことで「農産物の消費拡大」「交流人口の拡大」「地域経済の活性化」の好循環を構築することを目指しています。
- この度、市内外から多くの人を訪れる兵庫県立有馬富士公園内に、上記、地場産レストラン群の核となる拠点施設整備に向けて、想定する事業内容の市場性の有無や事業スキームに対する民間事業者の意向等を事前に把握し、今後予定している事業の公募内容等に反映することを目的として実施しました。

2. サウンディング調査の経緯

- 平成 31 年 2 月 26 日（火）・・・実施要領の公表
- 平成 31 年 3 月 20 日（水）・・・事前説明会（申込期間 2/26-3/18）
- 令和元年 6 月 3 日（月）・・・質問の回答（受付期間 3/20-5/17）
- 平成 31 年 3 月 20 日（水）～6 月 14 日（金）・・・参加申込書・提案書の受付
- 令和元年 7 月・・・参加者との個別対話の実施

3. ご提案内容の概要（主なご意見・ご要望）

- 参加者：4 団体
- 個別対話において、事業者の皆さまからいただいたご提案内容の概要は以下のとおりです。
 - ・ No.1 エリア、No.2 エリアともに事業化の提案がありました。
 - ・ 拠点施設の規模は約 200m²～500m²
 - ・ 拠点施設の業態は、地場産レストラン、地場食材の直売所、地産地消マルシェ、軽飲食店など
 - ・ 事業期間としては投資回収を考慮し、10 年～20 年程度
 - ・ 事業実施にあたっては、市からソフト・ハード支援を要望
 - ーソフト支援の例： 地場食材の活用促進に資する優良生産者とのマッチング
市内イベントとの連携 など
 - ーハード支援の例： 電気・水道等のインフラ整備 など

4. 今後の予定

- 今回のサウンディング調査の結果を踏まえ、事業対象エリア及び事業スキーム等を精査のうえ、速やかに事業者の公募に向けた手続きを行うことを予定しています。なお、速やかに事業公募に移行できた場合、令和元年度・第 4 半期に事業者の募集手続きを開始する見込みです。